

# 仕 様 書

## 1 委託名

ごみ分別スクール実施委託

## 2 委託内容

市環境局職員と連携し、各小学校において、ごみ減量・再資源化の重要性をより効果的に児童が理解できるよう、環境教育教材を使用した学習に加えて、ごみの分別や排出ルールを児童みずからが実際に目で見て、手で触れる等の『体験型プログラム』を実施する。

### (1) 実施概要

#### ア 実施校数

市立小学校89校 別紙「実施委託対象校一覧」のとおり

#### イ 対象

小学4年生(約6,500名)

#### ウ 日程

前半期間(5月~7月)と後半期間(9月~11月)に、発注者が指定する日程で実施する。1校に係る時間は、準備時間30分、実施時間90分の計2時間とする。同日に実施する校数は最大3校である。

#### エ 使用テキスト

千葉県環境教育教材「ちばキッズ エコエコ大作戦`20~`22」(発行:千葉県環境保全課)を使用する。発注者より、受注者用のテキスト20部を提供する。

#### オ 実施内容(予定)

3時限目と4時限目の2コマ、約90分間で実施する。3時限目は主に市環境局職員が実施し、受注者は補助を行う。4時限目について、主にリサイクルの説明を行う。なお、実施マニュアル、シナリオについては発注者が提供する。

3 時 限 目 《主に環境局職員で実施》	市のごみの現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1年間に排出されるごみの量について</li><li>・ ごみを減らすことの大切さについて</li></ul>
	ごみの出し方	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ごみを出すときのルール</li><li>・ 5分別について</li></ul>
	ごみ分別体験	※ 児童が持参したごみを実際に分別する
	ごみ収集車の実演	※ ごみ収集車を実際に動かし、ごみの回収作業の実演を行う
4 時 限 目 《受注者のみで実施》	リサイクルの説明	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 分別した資源物がどのように処理、生まれ変わるかについて</li><li>・ 3R(リデュース、リユース、リサイクル)について</li></ul> ※ ○×クイズを交えながら説明

## (2) 従事者

各小学校の児童数に合わせ、確実にプログラムを遂行できる人員を確保すること。

なお、講師については、ごみ減量・再資源化に精通した講師を派遣することとし、各校最大2名とする。

また、児童数100名以上の大規模校については、補助スタッフを必ず派遣することとし、各校最大2名とする。

## (3) 説明に必要な物品の製作・調達

下記の物品を6セット製作・調達すること。また、その他、必要な物品がある場合は適宜、製作・調達すること。

### ア 物品

リターナブルびんの見本、アルミ缶、スチール缶、磁石、建設材料の鉄、再生アルミ、ペットボトルフレック、ペレット、ペットボトル再生品のワイシャツ、PETとプラスチック分離方法の模型、牛乳パック、牛乳パック再生品のトイレトペーパー

### イ ○×クイズに用いるパネル（計13枚）

パネルは、ラミネート加工するなど、複数回の使用に耐えうるものとする。また、離れた児童でも視認できるよう、大きさはA3以上にする。

○パネル、×パネル、問題パネル（全5問）、アルミ缶リサイクルにかかるエネルギーについてのパネル、古紙のリサイクルについてのパネル、3Rについてのパネル、リサイクルマークのパネル（スチール、アルミ、ペットボトル）

## (4) その他

### ア 記録用写真の提出

各実施校において1枚程度、資料用実施記録写真を撮影し、CD-Rで提出すること。ただし、小学校より撮影禁止の申し出があった場合は、この限りではない。

### イ 雑がみ保管袋の配布

分別スクール実施時に、児童および教諭に「雑がみ保管袋」を配布すること。なお、「雑がみ保管袋」については、発注者が受注者に実施校数分を一括で提供するため、配布までの間適切に保管すること。

全実施日程終了後、提供した雑がみ保管袋の残部は発注者に返却すること。

### ウ 報告書の作成・提出

報告書2種を下記のとおり作成すること。提出は電子データとし、CD-Rで提出すること。

(ア) 中間報告書 前半期間終了後

(イ) 最終報告書 全実施期間終了後

### エ 実施前事前打ち合わせ・中間報告会・最終報告会に出席すること。

### オ その他、事業に関する必要事項を実施すること。